

第5 公営企業の業務の状況

1 電気事業

(1) 令和6年度予算及び経営状況

年間総販売電力量を1億5,000万キロワットアワーと見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、電気事業収益25億3,847万7千円、電気事業費用23億2,030万円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入573万1千円、資本的支出3億1,994万9千円を計上し、資源の有効利用と販売電力量の増加を図るため、既設水力発電所の設備更新に合わせたりパワリング（水車ランナの改造等による出力向上）を計画的に推進する取組として、新阿武川発電所の水車ランナ制作を実施します。

なお、水力発電の経営は、気象条件に左右されるので、貯留水の効率的運用を図ることはもちろん、気象状況の早期把握、関係機関との密接な連携などを図り、販売電力量の確保による収入の増加と経費の効率的執行により経営の安定化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第11表 令和6年度電気事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 6 年 度 (A)	令 和 5 年 度 (B)	増 減 (A)－(B)
年 間 総 販 売 電 力 量	149,523,000 KWH	153,639,000 KWH	△4,116,000 KWH

第12表 令和6年度電気事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収益的収入				
電気事業収益	2,538,477	1,829,841	708,636	138.7
営業収益	2,500,553	1,789,574	710,979	139.7
附帯事業収益	25,376	26,657	△ 1,281	95.2
財務収益	152	299	△ 147	50.8
事業外収益	12,393	13,308	△ 915	93.1
特別利益	3	3	0	100.0
収益的支出				
電気事業費用	2,320,300	1,650,291	670,009	140.6
営業費用	2,197,722	1,561,341	636,381	140.8
附帯事業費用	23,664	54,181	△ 30,517	43.7
財務費用	304	635	△ 331	47.9
事業外費用	95,607	31,131	64,476	307.1
特別損失	3	3	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0
資本的収入				
資本的収入	5,731	1,102,322	△ 1,096,591	0.5
資本剰余金	4,546	1	4,545	454,600.0
固定資産収入	1	1,100,001	△ 1,100,000	0.0
雑収入	1,184	2,320	△ 1,136	51.0
資本的支出				
資本的支出	319,949	898,426	△ 578,477	35.6
建設費	416	566,000	△ 565,584	0.1
改良費	303,007	308,904	△ 5,897	98.1
投資	1	1	0	100.0
償還金	13,425	20,421	△ 6,996	65.7
補助金返還金	100	100	0	100.0
予備費	3,000	3,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額3億1,421万8千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和5年度下半期の業務の概要

令和5年度は、年間を通じた降雨量が、県下主要ダム（電気事業関連）地点で平年の99.6%となりましたが、下半期の渇水に伴い、ダム水位貯留に努めた結果、令和5年度の販売電力量は目標に対して86.9%、電力料金収入（「やまぐち維新でんき」分除く）は目標に対して96.7%となりました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、電力料金収入の減などにより7,180万8千円の減額補正を、収益的支出予算においては、職員給与費の減などにより1億432万3千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億5,803万3千円、収益的支出において15億5,074万9千円、資本的収入において11億524万9千円、資本的支出において3億2,300万9千円となりました。

また、新たな電源開発となる平瀬発電所の建設事業を引き続き実施しました。

第13表 企業債及び一時借入金の状況(電気事業)

区 分	発行総額	償 還 額		令和5年度末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	355,000	20,431	325,949	29,051
錦川水系発電所	161,000	9,351	149,279	11,721
佐波川発電所	64,000	3,525	55,711	8,289
新阿武川発電所	130,000	7,555	120,959	9,041
一 時 借 入 金	0	0	0	0

2 工業用水道事業

(1) 令和6年度予算及び経営状況

年間総給水量5億7,200万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、工業用水道事業収益73億1,896万4千円、工業用水道事業費用66億3,667万6千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入18億1,280万9千円、資本的支出53億3,277万5千円を計上し、企業債11億3,450万2千円を償還するほか、工業用水の安定した供給に資するため、改良事業として木屋川工業用水道二条化事業などを引き続き実施します。

さらに、新規受水企業や契約水量を増やす企業に対して、引込管設置等の初期費用の支援など需要開拓を図る諸施策に引き続き取り組み、工業用水道事業の経営基盤強化に努めます。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第14表 令和6年度工業用水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 6 年 度 (A)	令 和 5 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 給 水 量	571,800,000 m^3	571,718,000 m^3	82,000 m^3

第15表 令和6年度工業用水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
工業用水道事業収益	7,318,964	7,091,103	227,861	103.2
営 業 収 益	6,826,678	6,595,549	231,129	103.5
営 業 外 収 益	492,283	495,551	△ 3,268	99.3
特 別 利 益	3	3	0	100.0
収 益 的 支 出				
工業用水道事業費用	6,636,676	6,710,425	△ 73,749	98.9
営 業 費 用	6,443,079	6,512,774	△ 69,695	98.9
営 業 外 費 用	183,594	187,648	△ 4,054	97.8
特 別 損 失	3	3	0	100.0
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,812,809	1,879,724	△ 66,915	96.4
企 業 債	1,130,000	1,090,000	40,000	103.7
資 本 剰 余 金	247,154	524,601	△ 277,447	47.1
固 定 資 産 収 入	1	5,435	△ 5,434	0.0
雑 収 入	435,654	259,688	175,966	167.8
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	5,332,775	4,962,317	370,458	107.5
改 良 費	4,183,272	3,798,824	384,448	110.1
投 資	1	1	0	100.0
債 還 金	1,134,502	1,151,974	△ 17,472	98.5
補 助 金 返 還 金	5,000	1,518	3,482	329.4
予 備 費	10,000	10,000	0	100.0

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額35億1,996万6千円は、内部留保資金(損益勘定留保資金及び資本的収支調整額)で補てんします。

(2) 令和5年度下半期の業務の概要

令和5年度は、一部地域で濁水に伴う自主節水が行われましたが、企業活動に大きな影響を出すことなく給水することができました。

また、さらなる工業用水の安定供給に資するため、木屋川工業用水道二条化事業などを実施するとともに、需要の開拓、企業債残高の縮減などの経営基盤の強化に取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、給水収益の増加などにより6,974万7千円の増額補正を、収益的支出予算においては、動力費の減少などにより8,378万6千円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、企業債の減少などにより8億7,137万7千円の減額補正を、資本的支出予算においては、改良費の減少などにより7億4,272万6千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において71億6,085万円、収益的支出において66億3,482万4千円、資本的収入において10億834万7千円、資本的支出において42億1,959万1千円となりました。

第16表 企業債及び一時借入金の状況(工業用水道事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 5 年 度 末 現 在 高
		当年度償還額	償還額累計	
企 業 債	26,710,500	1,152,001	12,108,451	14,602,049
小瀬川工業用水道	1,102,500	41,997	579,448	523,052
向道・川上工業用水道	468,000	23,431	292,297	175,703
周南工業用水道	8,403,000	393,446	4,838,511	3,564,489
佐波川工業用水道	867,900	28,630	202,709	665,191
厚東川工業用水道	4,021,300	181,981	1,375,996	2,645,304
木屋川工業用水道	4,318,700	121,731	1,183,072	3,135,628
富田夜市川工業用水道	1,347,900	69,173	658,097	689,803
厚東川第2期工業用水道	2,010,500	112,766	804,482	1,206,018
厚狭川工業用水道	2,370,700	82,722	531,834	1,838,866
小瀬川第2期工業用水道	1,800,000	96,124	1,642,005	157,995
一 時 借 入 金	0	0	0	0

3 流域下水道事業

(1) 令和6年度予算及び経営状況

年間総処理水量を1,205万 m^3 と見込み、これを基に収益的収支の予算を編成しています。その予定額は、流域下水道事業収益18億5,850万9千円、流域下水道事業費用18億5,850万9千円を見込んでいます。

また、資本的収支については、資本的収入12億1,843万2千円、資本的支出12億1,843万2千円を計上し、汚泥処理施設などの施設の整備や企業債の償還を行います。

本年度の業務予定量並びに収益的収支及び資本的収支の予定額は、次の表のとおりです。

第17表 令和6年度流域下水道事業の業務予定量と前年度との比較

区 分	令 和 6 年 度 (A)	令 和 5 年 度 (B)	増 減 (A)-(B)
年 間 総 処 理 水 量	12,046,450 m^3	11,818,068 m^3	228,382 m^3

第18表 令和6年度流域下水道事業会計予算の前年度との比較

(単位 千円、%)

区 分	令和6年度 当初予算額(A)	令和5年度 当初予算額(B)	比 較 (A)-(B)	(A)/(B)
収 益 的 収 入				
流域下水道事業収益	1,858,509	1,838,937	19,572	101.1
営 業 収 益	934,916	914,535	20,381	102.2
営 業 外 収 益	923,593	924,402	△ 809	99.9
収 益 的 支 出				
流域下水道事業費用	1,858,509	1,838,937	19,572	101.1
営 業 費 用	1,823,273	1,801,250	22,023	101.2
営 業 外 費 用	35,236	37,687	△ 2,451	93.5
資 本 的 収 入				
資 本 的 収 入	1,218,432	536,464	681,968	227.1
企 業 債	247,600	123,600	124,000	200.3
国 庫 支 出 金	579,332	139,000	440,332	416.8
負 担 金	391,500	273,864	117,636	143.0
資 本 的 支 出				
資 本 的 支 出	1,218,432	536,464	681,968	227.1
建 設 改 良 費	912,354	228,420	683,934	399.4
固 定 資 産 購 入 費	5,134	6,360	△ 1,226	80.7
償 還 金	300,944	301,684	△ 740	99.8

(2) 令和5年度下半期の業務の概要

周南流域下水道事業及び田布施川流域下水道事業の実施により生活環境の向上や水質保全に取り組んでいます。

令和5年度は、下水処理場における長寿命化工事などに取り組みました。

最終の2月補正では、収益的収入予算においては、営業収益の減少などにより1億2,462万円の減額補正を、収益的支出予算においては、営業費用の減少などにより1億2,462万円の減額補正を、それぞれ行いました。また、資本的収入予算においては、負担金の減少などにより1,612万5千円の減額補正を、資本的支出予算においては、償還金の減少などにより1,612万5千円の減額補正を、それぞれ行いました。

この結果、最終予算は、収益的収入において17億1,431万7千円、収益的支出において17億1,431万7千円、資本的収入において5億2,072万7千円、資本的支出において5億2,072万7千円となりました。

第19表 企業債及び一時借入金の状況(流域下水道事業)

区 分	発 行 総 額	償 還 額		令 和 5 年 度 末 現 在 高
		令和5年度償還額	償還額累計	
企 業 債	4,396,982	293,952	2,178,205	2,218,777
一 時 借 入 金	0	0	0	0